

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	7月26日	農林部	農政課	農業政策担当	-	-	-	2農農02	2

業務名称	農業地域づくり業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	農業・農村地域の保全や活性化を図る。	優良農地面積	5,023ha (8,965ha)	5,010ha (8,952ha)	3.4	6,005
担当業務目的	農業の振興を図るため、地産地消や農業・農村地域環境の整備・保全を推進する。	耕地利用率	82.5%	82.5%	3.4	6,005

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)	担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)		
01 優良農地の確保と効率的利用を促進する。				49	(1)秋田市農林水産業振興戦略会議事業 ・対象 農業者、林業者、漁業者 ・目的 秋田市、河辺町、雄和町の1市2町の合併後の農林水産業の振興を図るため、新「秋田市農林水産業・農村振興基本計画」を策定し、振興施策の推進を図る。 ・内容 農林水産業振興戦略会議、タウンミーティングの開催、基本計画の策定等 (2)農用地の利用集積 ・対象 農業者 ・目的 農用地の流動化を促進し、農地の有効利用、効率的な農地管理を図る。 ・内容 利用権設定、農用地利用改善、農作業受委託等を農業委員会と連携し、農用地の利用集積を図るとともに、農用地利用改善団体が行う農地集積活動に対し助成する。 (3)農業振興地域整備計画の適切な運用 ・目的 農業振興地域内の優良農用地の保全 ・内容 農業振興地域整備計画の一般変更、軽微変更、見直しに伴う計画図の作成
平均経営耕地面積(農家1戸当たり)	0.84ha (0.86ha)	0.89ha (0.94ha)	農業振興地域制度による優良農地の保全を図る。 農用地の利用集積を推進する。 振興計画を策定する。		
02 「安全・新鮮・安心」な地場農畜産物の地域内消費を促進する。				1,000	(4)地産地消推進事業 ・対象 市民 ・目的 安全・新鮮・安心な地場農畜産物の地産地消を推進し、食に対する生産者と消費者との信頼感や相互理解を深めることにより、農畜産物の地域内流通の拡大を推進する。 ・内容 市民を対象に市内農畜産物の直売活動を実施 小中学校の学校給食への市内産農畜産物の供給体制に関する研修・検討会等の開催 生産者・消費者の意見交換や農業体験等の交流活動を実施し、生産者と消費者との連携体制づくりを推進
販売額(直売)	43百万円 (108百万円)	50百万円 (127百万円)	直売活動の拡大を推進する。 学校給食用農畜産物の供給拡大を推進する。 生産者と消費者の交流を推進する。		

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))			実績(H15)	目標(H17)	事業費 (千円)	備考欄
活動における指標						
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)						
03 地域特産品を開発する。					556	(5)地域特産品の認定 ・対象 加工業者等 ・目的 市内産農畜産物を利用した地域特産品を認定し、販売促進とPRを図る。 ・内容 秋田市特産品認証制度による地域特産品の審査、認定地域特産品の普及に向けたPR及び販売の場の提供等
開発品目数	4品目 (4品目)	6品目 (6品目)				
検討委員会を開催する。 特産品を試作する。 特産品を認証する。						
04 中山間地域等の農地を保全する。					1,681	(6)中山間地域等振興対策事業 ・対象 協定集落 ・目的 中山間地域等の適切な生産活動等を通じて、耕作放棄地の防止、農業・農村の有する多面的な機能等の維持・発展を図る。 ・内容 協定集落の農地における農業生産活動や保全活動等に対して交付金を交付 (7)特定農山村地域活動支援事業 ・対象 秋田市雄和地域(旧種平村、旧大正寺村) ・目的 特定農山村における高収益、高付加価値型農業の展開、地域間交流の促進など地域の活性化を図る。 ・内容 高収益・高付加価値型農業の展開(ゆまゆり、メロン、ダリア) 地域間交流の促進(大正寺おけさ祭り、雄物川流域交流まつりの開催支援) 耕作放棄地の利活用法を検討する。
協定農地面積	17.9ha (78.5ha)	17.9ha (78.5ha)				
集落協定を締結する。 耕作放棄地の検証をする。						
05 子供たちの農業体験学習を推進する。					800	(8)農業体験学習推進対策事業 ・対象 小学生(6校) ・目的 学校教育と地域農業との連携強化によって農業・農村にふれあえる場を提供し、子供たちに農業体験を通じて農業の理解を深めさせる。 ・内容 小学校が行う農業体験(田植え、稲刈り等)や農業の学習、自然観察、収穫祭等の活動に対する助成 教育委員会、農協、関係機関等と連携し食農教育を推進する。
参加児童数(累計)	1,410人 (1,410人)	2,400人 (2,400人)				
農業体験学習実施校の拡大を推進する。						

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))			事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)				
06 グリーン・ツーリズムを推進する。			1,619	(9)市民農園の設置 ・対象 市民 ・目的 市民に農作業や収穫の喜びを体験してもらい、農業への理解の醸成を図る。 ・内容 市民農園の貸し付け(秋田・雄和 6地区:10カ所) (10)郊外型市民農園(スーパー農園)の開設 ・対象 市民等 ・目的 市民に農作業や収穫の喜びを体験してもらい、農業への理解の醸成を図るとともに、農林業・農村地域の多様な資源を活用したグリーン・ツーリズム等の推進を図る。 ・内容 農園利用者ニーズに対応できる施設・設備が整備された有料市民農園を開設するための調査・計画策定 (11)グリーン・ツーリズム推進対策事業 ・対象 都市住民、農山村住民 ・目的 農山村地域の豊かな自然や農林水産資源、文化等を活用したグリーン・ツーリズムの推進を図り、農山村地域の活性化や都市住民の健康的な余暇利用等の促進を図る。 ・内容 推進体制の整備「(仮称)秋田市グリーン・ツーリズム推進協議会の設立」 ワークショップ活動を通じた地域連携システムの構築 農山村滞在型余暇活動に関する基本方針及び計画の策定 体験農園、農家民宿、農家レストラン等都市住民の需要に応じた受入体制の整備を図る。
体験者数	711人 (758人)	711人 (758人)		
郊外型市民農園の開設を推進する。 市民農園を設置する。 ツーリストの受入体制を整備する。				
07 農業関係団体の活動を支援する。			300	(12)各種大会等開催助成 秋田市内で開催される農業関係団体の全県規模以上の大会等に助成する。
支援団体数	1団体 (1団体)	2団体 (2団体)		
本市で開催する各種大会を支援する。				